

# 難削材加工に朗報!

## MTDセンター(大阪) 無料相談センター開設

ワイエムピー・ムンダス(大阪市中央区、山口久一社長)と大和製缶、新日本工機社長は、4月1日、難削材切削加工技術で知られる大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻准教授・工学博士藤原順介氏(取締役MTDセンター代表)の定年退職を待って、加工技術開発センター(MTDセンター)＝Machining Technology Development Centerの略)を開設した。

技術に「変革」が始まっており、今後、中小製造業の参入、拡大が予測されることから、難削材の加工技術に困る中小製造業の技術サポートをするのが狙い。

これまで同センターの加工技術相談は、新日本工機内に窓口を置き、主に鉄をはじめアルミニウム、銅などの加工相談からチタンやニッケル、超硬合金、CFRP(炭素繊維強化プラスチック)などを受けていた。近年、難削材の切削加工相談が増えはじめ、藤原センター長(チタン、CFRP、超硬合金)を中心に加工技術の相談を本格的に始動したもの。

技術相談は、ホームページからの「問い合わせ」あるいはFAX(06-4790-3328)で質問を受け、回答をす

る方法が取られている。回答期限は約2週間、無償で行われる。詳しくは、同社ホームページ <http://www.minds.co.jp>。

なお、MTDセンターは、大阪、神戸、奈良の高専、大学とパートナーシップを組み得意分野に中小製造業の皆さんに専

門知識を持つ弊社の技術ノウハウを開放するもの。ぜひアクセスして下さい」と、呼びかけている。

【藤原取締役MTDセンター代表の略歴】1972年大阪大学工学部産業機械工学科卒、74年同大学院工学研究科修士課程修了、78年同単位修得退学、78年大阪大学助手、79年工学博士、96年同助教授、2007年同大学院准教授、13年現在



藤原順介氏

目的は、日本の産業が大量生産から航空機・医療機器・電気自動車・食品機器などに代表される先端・難削材の切削加工

も広く対応する。各高専、大学は、大阪府立高専田代徹也准教授(CFRP、チタン)、神戸高専宮本猛教授(超硬合金)、奈良高専和田任弘教授(熱結銅、アルミ)、神戸大学野村昌孝准教授で構成されている。

ワイエムピー・ムンダス副社長松波康二氏は「ホームページをベースとした研究所というネット時代にあわせ、難削材の切削加工で困っている中小製造業の皆さんに専

門知識を持つ弊社の技術ノウハウを開放するもの。ぜひアクセスして下さい」と、呼びかけている。

で質問を受け、回答をす

る方法が取られている。回答期限は約2週間、無償で行われる。詳しくは、同社ホームページ <http://www.minds.co.jp>。

なお、MTDセンターは、大阪、神戸、奈良の高専、大学とパートナーシップを組み得意分野に中小製造業の皆さんに専

門知識を持つ弊社の技術ノウハウを開放するもの。ぜひアクセスして下さい」と、呼びかけている。